

林業福島

No. 551

題字 福島県知事 佐藤雄平



7

2010

かんしゅう■福島県農林水産部
表紙の写真■傘寿まだまだ現役



木質チップボイラーの導入で 地産地消型エネルギーの推進!!

川内村長 遠藤 雄 幸



阿武隈高地の山々が連なり、浜通り地方の中部に位置する川内村は、豊かな大自然と調和しながら歩み続けて一二〇年の歳月が流れました。村の人口は約三、〇〇〇人で基幹産業は農林業を中心に今なお発展していると自負しております。

村の総面積、約二〇、〇〇〇畝のうち八六割にあたる一七、〇〇〇畝が山林で占めております。また村有林は山林面積の約半分の八、二〇〇畝を管理しているのが特徴で、村の重要な森林資源であると同時に、村民の誇りである雄大な自然環境を形成しております。

一方、本村では、交流人口拡大を目指すため、平成一二年に温泉交流施設「かわうちの湯」をオープンし、一〇年経った今も憩いの場として、村民や近隣の皆様によつて年間九〇、〇〇〇人の利用があります。石油ボイラーの経年劣化と石油燃料の高騰により、今年の四月から木質チップボイラーの運転を始めました。間伐材の価格低迷のため、毎年切り捨てにしていたものを森林資源として利活用し、これまでに二、五〇〇万円以上かかっていた石油燃料から木質燃料に切り替え、源泉の加温経費を約一、〇〇〇万円削減しながら、併せて間伐事業の実施で、温室効果ガスの吸収で年間二九六トンの削減にも繋げるなど一石二鳥の効果に期待し、地産地消型のエネルギーを構築しました。

ボイラーの燃料となる木質チップは、村有林の整備のため毎年五〇畝を間伐しており、これを採用し、約二〇畝に破碎して燃料とします。燃料に使用するチップは一日当たり一〇立方メートルを使用します。

平成二一年度に出力五〇〇瓩の木質チップボイラーを六、六〇〇万円で、かわうちの湯の隣に設置しました。また、ボイラーの付属施設として、間伐材を集積する一、五〇〇平方メートルの貯木場やチップ保管庫、さらにトラックとホイールローダを合わせて四、三〇〇万円を整備をしました。これらは地元の森林組合と協定を結び、施設の運営と木質チップの燃料を確保するものです。

今後においても、森林整備による環境の保全と林業雇用の確保にも繋げ、地球温暖化の防止に向けた取り組みを模索しながら、CO₂を企業に購入してもらうカーボンオフセットの活用も考えていきたいと思いますので、関係機関のご指導と協力をよろしく願います。

《も く じ》

とびら

木質チップボイラーの導入で
地産地消型エネルギーの推進!!

川内村長 遠藤 雄幸…………… 1

ふくしま森林文化企画展始まる…………… 2

治山百年を迎えて…………… 3～4

林研センターだより

木造住宅の柱の仕口接合の

込み栓利用について… 5～6

第30回全国林業後継者大会に参加して

県林研グループ連絡協議会長 蛭田 …… 7

普及指導員通信…………… 8

木材市況・ふくしま東西南北…………… 9

みどりの少年団コーナー…………… 10

公社だより…………… 11

林業経営新規参入者支援

相談窓口のご案内…………… 12

はなしのひろば…………… 13

ふくしま 森林文化企画展始まる

森林環境税を活用した、ふくしま森林文化企画展が、六月二六日から始まった。

まほろん、福島県立博物館、福島県文化センター歴史資料館、アクアマリンふくしま、フォレストパークあだたらの五館が連携して、古代から現代までに築かれた森林文化を時間軸に沿って、それぞれのテーマで企画展示や体験学習が行われている。二六日には、福島県立博物館で、オープニングセレモニー、オープニングトーク、記念トークが行われた。



子供たちとテープカット

○オープニングセレモニー

午前九時三〇分、福島県立博物館エントランスで、会津若松市立城北小学校の二年生約六〇人が参加してテープカットが行われた。

まず、佐藤雄平県知事が、「森林の恵みに感謝の念をもって森林と関わってきた森林文化に、各館の展示を通して触れていただきたい」とあいさつを述べた。

ついで、来賓の瓜生信一郎福島県議会副議長、菅家一郎会津若松市長が祝辞を述べた。

続いて、佐藤県知事、瓜生副議長、菅家市長、福島県立博物館はじめ五



森林のくらしの資料展示

館の館長が、児童代表三人と一緒にテープカットを行った。

このあと、参加者は、さっそく「森に生き山に遊ぶ」をテーマにした展示を見学した。

成り立ちや樹木分布などの本県の森林の概況、さらに古民具や一本造の仏像などの森のくらしに関わる資料、くらしの中の楽しみであった南会津の歌舞伎衣装などが展示されている。

また、小中学校で行われている森林環境学習の様子や成果の展示もされている。



安藤和津氏による記念トーク



5館の館長によるオープニングトーク

○オープニングトーク、記念トーク

一〇時三〇分からは、森林から未来へと銘打ったオープニングトークが開かれた。

福島県立博物館長赤坂憲雄氏の司会で、福島県文化財センター白河館長藤本強氏、福島県歴史資料館長富田孝志氏、(財)ふくしま海洋科学館長安部義孝氏、(財)ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団理事長樫村利道氏が、それぞれの館で展示している特色ある内容や体験イベントの紹介を行った。

午後からは、安藤和津氏(県しゃくなげ大使、エッセイスト)を迎え、「明日を素敵に生きるには」のテーマで記念トークが行われた。

食生活、子供のしつけなど、身近なことを話の切り口としながら、今は何でも買える時代だが、いやなこと多い時代である。文明の利器で女性は自分の時間を持つことができたが、心のすれ違いが出てきた。優秀とは、優しさに秀でていることができ、お互いに感謝のことが大切である。などとユーモアを交えて話をされた。また、博物館前には、アクアマリン移動水族館がやってきて、多くの子供たちがヒトデやウニなどに触れて楽しんでいった。

治山百年を迎えて



美しい半田沼 写真②の現在の様子

県治山対策課

伊達郡桑折町にある半田山は、標高八六三メートルで、福島市や国見町、宮城県白石市と接しています。この半田山も、かつては「はげっぺ半田山、登ればツルツル……」と子供達に歌われるほど、山の表面には幾筋も地肌が剥きだしになっていました。これが半田山崩壊後の姿でした。崩壊後、治山事業に取り組んだ先人の努力により、一〇〇年の時を越えて、緑豊かな半田山が甦りました。

■半田山の歴史

半田山（桑折町）は、徳川幕府時代に、通貨鑄造銀山として、佐渡相川金山、但馬生野銀山と共に日本三大鉱山といわれ、坑道の延長は一〇

数キロあり、当時は大いに賑わっていました。明治九年には明治天皇が御臨幸され、鉱山施設をつぶさにご覧になっています。「はんだ付け」（鉛とスズの合金）の名称の由来は半田山といわれており、当時は全国に名が知れ渡っていました。

■半田山の地すべり

半田山は、江戸時代にも、繰り返し地すべりが起きていたようです。東側の大きく崩れた山容は、江戸時代後期の著名な画家「谷文晁」が一八一七年に描いた「奥州半田山（半田銀山の図）」（種徳美術館蔵）にすでに描かれています。

明治に入り、二四年頃から再び地



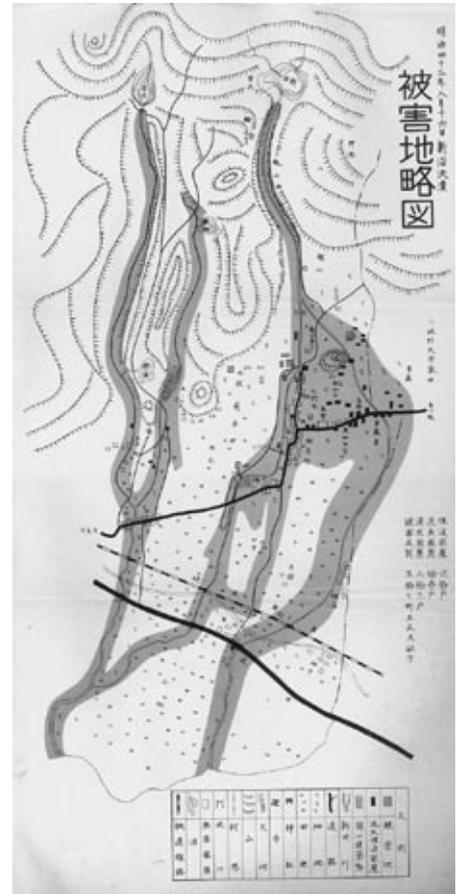
明治36年の地すべり後の様子（写真①）



写真①の現在の様子

すべり活動が始まりました。明治三四年から三六年にかけてが最も激しく、山の東側半分が大規模な地すべり（東西二キロメートル、南北一〜一・五キロメートル）が発生し、それまでも馬蹄型の崩れを持つ特異な山容は、より一層、荒々しい姿となっていました。この崩壊により、人家三〇戸、及

び鉱山長屋二六棟の移転が必要となりました。また、山の中腹にあった旧半田沼は消滅し、南側に八杉ほどの新しい沼が出現しました。現在の半田沼の誕生です。これらの度重なる地すべりは、第三期層凝灰岩が深層風化しているためと考えられます。



明治43年8月の被害状況を示した地図

地すべりにより最も被害を受けたのは明治四三年です。八月に入り、日本全土をおそった異常な降雨は、史上有数の災害（全国の浸水家屋五一八、〇〇〇戸）をもたらしました。半田沼においても、一〇日からの降雨により著しく増水し、一六日には東端が決壊、土石流となって山麓一帯に氾濫し、特に半田村大字北半田（現、桑折町大字北半田）地区に大きな被害（埋没や流出などの家屋一一一戸、田九〇鈔、畑三〇鈔）を与えました。

■ 治山事業の始まり

災害の翌年の明治四四年から、被災地の復旧事業が始まりました。これが、今から一〇〇年前、福島県と



明治43年8月に半田沼が決壊した様子（写真②）

して取り組んだ治山事業の始まりです。県の補助事業として、半田村直営で排水工及び植栽を行い、その後も、荒廃地の崩壊を防止するための山腹工事や、溪流から土砂が流出するのを防止する溪間工事などが継続して行われ、大正一一年からは県営工事として昭和五二年まで実施されました。その後も断続的に現在まで治山工事が行われています。

■ 甦った半田山

現在の半田山は、治山事業により安全、安心がもたらされ、見事に緑が戻りました。

桑折町も半田山の保全管理に力を入れており、昭和五六年からは生活環境保全林整備事業により、半田沼



土石流に埋没した人家。明治43年8月撮影

周辺の花木、遊歩道、休憩施設などが整備され、また昭和五九年からは新林業構造改善事業により管理センター、キャンプ場などが整備されました。青く水を湛えた沼を中心に、春の桜、夏の涼風、秋の紅葉と、半田沼を中心に、四季をとおして多くの方々憩いの場として利用されています。

平成二二年六月一二日には、半田

醸芳小学校校緑の少年団や、地域住民など一五〇人が参加し、半田山復興一〇〇周年記念植樹が半田山で行われました。植栽した松が一〇〇年後も緑豊かに半田山を守ることを願い、当日は、松食い虫に対する抵抗性の強い松一〇〇本が植栽され、参加した方々は、先人達の労苦に感謝し、偉業をたたえ合いました。



写真③の現在の様子



治山工事（溪間工）の実施の様子（写真③）

災害はいつでもどこでも起こります。自分たちの住んでいる地域の言い伝え、歴史的経過、治山治水にかけた先人の取り組みなどの状況を再認識し、ゆいしの心で日常的に助け合っていくことが、被害を未然に防ぐことにつながるといふようなことが、被災した方の体験談でよく聞かれます。皆さんの地域においてもぜひ再確認をお願いします。

林業研究センターだより 木造住宅の柱の仕口接合の 込み栓利用について



木造住宅の接合

県林業研究センター林産資源部

渡部 秀行

◆はじめに

平成七年、阪神淡路大震災が発生し兵庫県南部を中心に、多くの住宅の倒壊や火災が発生しました。この震災を契機に、一般消費者の住宅に対する耐震性の関心は一段と高くなりました。

地震により木造住宅が倒壊するとき、柱や梁が折れるより先に柱が土台から引き抜け、接合部から破壊することがほとんどです。そのため柱と横木（土台、梁、桁

等）との接合部の強度を高めることが特に大切です。

今回、柱の仕口※1接合方法の一つとして、天然素材のコナラ込み栓※2を利用した「長ほぞ差し込み栓打ち※3」による接合について、穴の配置と本数による強度性能の試験を実施しましたので、その結果を紹介します。

◆試験方法

試験材は県産スギの天然乾燥材を使用し、試験体の寸法は柱が正角一〇五×一〇五×六〇〇^{ミリ}、横木が

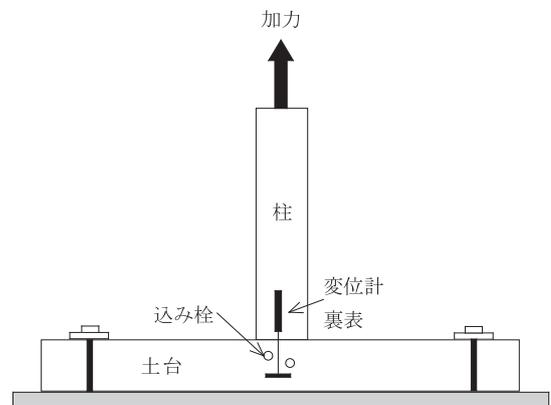


図-1 試験体と測定方法

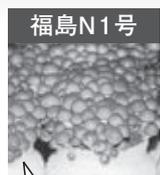
一〇五×一〇五×一、〇〇〇^{ミリ}としました。

試験体は柱と横木のほぞを加工後中央に接合し、ほぞ※4部分にドリルで穴を開け、長さ一〇五^{ミリ}の丸込み栓を打ち込んで作成しました。試験区は表一のとおりです。

試験は柱の先端部と横木の両端部をポルトにより試験機に固定し、加力測定は木材万能試験機を用いて上方向に加力を行い、荷重と変位の値を測定し、接合部の強度を求めました。（図一）

きのこで地域を元気に (財)福島県きのこ振興センター

●菌床栽培用ナメコ(登録品種)

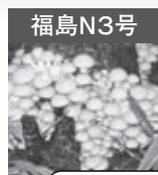


安定多収量

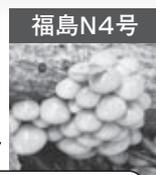


大型・滑り少

●原木栽培用ナメコ(登録品種)



コナラ原木で安定・多収量
食物繊維、ペクチン様物質豊富



○その他各種種菌

○菌床 ・シイタケ
・ハタケシメジ
・ムラサキシメジ等

○マイタケホダ木 ○栽培資材

〒963-0112 郡山市安積町成田字西島坂7-2 Tel 024-947-2188 Fax 024-947-6926
E-mail:f-kinoko@mtj.biglobe.ne.jp URL:http://www.f-kinoko.org

表-1 接合強度試験の試験区と結果

試験区	込み栓本数	込み栓上下間隔	横木上部からの距離		接合強度 kN
	本	mm	上 mm	下 mm	
A	1	—	45	—	4.2
B	2	0	45	45	6.5
C		10	40	50	5.1
D		20	40	60	7.8
E		30	35	65	4.7



測定状況

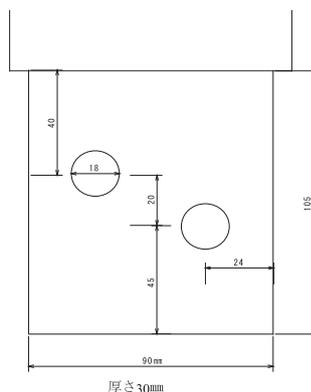


図-2 20mm間隔の斜め2本打ち

◆試験結果

試験結果は表-1に示します。今回の試験結果では、試験区Dの込み栓二〇^ミ間隔の斜め二本打ち（図-2）が接合強度七・八kN^{※5}と

なり最も高い値を示しました。

その他の二本打ち試験区においても、込み栓一本に比較して高い値になりました。

◆おわりに

当センターにおいては、平成一七（二一）年度の五年間「在来軸組工法における構造部材の接合技術の確立」という課題で各種接合方法について検討してきました。今回はそれらの接合方法の中から柱の仕口接合の「長ほぞ差し込み栓打ち接合」の試験結果について説明しました。

今回の試験結果では、込み栓二〇^ミ間隔の斜め二本打ちが最も高い値を示し、建築基準法に定められた

長ほぞ差し込み栓打ちの基準必要耐力値（三・四kN）以上の値を十分に満足し、接合金物の山形プレートと同等以上の強度になりました。

現在の木造軸組工法では大半を接合金物を利用しているのが現状ですが、込み栓接合は在来木造軸組工法において日本古来の伝統工法として古くから利用されており、その強度も確認されている天然素材のみで行われる工法です。

また、工賃としても大差はなく、金物利用の少ない建築工法は建築廃

材（産業廃棄物）の再利用にも有利となります。

今後、柱の仕口接合では接合金物だけではなく、歴史と伝統に加え、科学的な強度も確認できた在来軸組工法である「長ほぞの込み栓打ち」をもっと木造建築物の設計に利用していただければと思います。

- ※1 仕口…木材相互の組み合わせ方法で、二つ以上の部材角度を持たせた接合
- ※2 込み栓…土台や桁と柱、柱と横架材などのほぞ差し仕口で、材の抜けを防ぎ緊結するために打ち込む堅木の栓
- ※3 長ほぞ差し込み栓打ち…長ほぞと横木に穴を開けて込み栓を通して接合する方法で建築基準法告示規定の仕様に定められている接合方法（図-3）
- ※4 ほぞ…ほぞとは角材を垂直方向に接合するとき、柱材の木口端に作った突起と横木に穴を開ける加工したものを。
- ※5 kN…単位面積当たりに働く力の単位

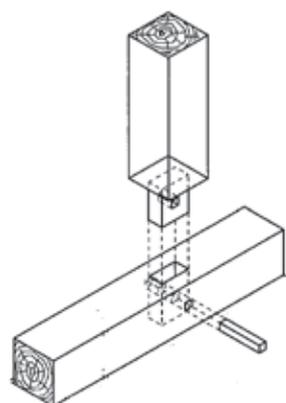


図-3 長ほぞ差し込み栓打ち

第30回全国林業後継者大会に参加して

県林研グループ連絡協議会長 蛭田 一

第三〇回全国林業後継者大会が、五月二二日(土)、神奈川県伊勢原市民文化会館で開催された。

全国から林業後継者五〇〇余名の参加者があり、本県からは、県指導林家渡辺甲子雄氏と私の二名が参加した。

まず、開会のことばを神奈川県実行委員会会長山口久文氏が述べた。主催者挨拶は神奈川県副知事古尾谷光男氏に続いて、全国林業研究グループ連絡協議会田爪弥栄会長が、現在の病んでいる森林や木材価格の低迷に悩むが、人工林は作られた以上作っていかねければならない、未来へ続く森林づくりの宿命であると話された。

歓迎のことばの伊勢原市長長塚幾子氏は、県の四割(一〇万杉)を占める森林、水源の森林づくり運動の展開を語られた。

来賓祝辞として林野庁長官島田泰助氏は、コンクリートを作って発展してきたが、今後木造化のでき得るものはすべてそうすべきであること、木材の安定供給をめざすが、とりわけ川下の需要拡大が必要であること、近年社会環境面からも木材利用を後

押ししていること等を述べられた。

(社)全国林業改良普及協会会長西場信行氏は、住宅着工件数は昨年八〇万戸まで減少した。供給の八割を占める外材に對峙し、期待される地域林業の一層の飛躍を励まされた。

活動発表は二例、伊勢原市立緑台小学校六年生の生徒が林業教室の活動を通じ「私たちの将来と今できること」を環境面から学び、森林整備の意義について発表を行った。神奈川県立吉田島総合高等学校三年生は学校演習林を利用し、四〇〜四五年生の木材を活用した多面的な取り組みを発表した。

基調講演に移り「私たち林業経営の進む道」の演題で、元京都大学教授、林業経営者、岩井吉彌先生の講義を聞いた。先生は大学で教鞭を取るかたわら北山杉の林業経営者で自ら「二足のわらじをはく」と告げた。木材の動向を知るには外材を調べる必要性があることから世界各国の現地調査を行ったうえ、日本の林業はどこに推移すれば良いのかと深遠な話をされた。

日本の森林林業は、①世界でどのような位置にあるのか。②世界の林

業と太刀打ちできるのか。③世界の中でどういう方向を向けば良いのか。との問題点をあげた。

①では、日本は中伐期にあたり、世界の流れとしては大面積に一種を植林し、超短伐期(一〇年伐期)の動向にあること。

②では、日本は、生産コスト、製材コストが世界一高く、世界の林業との競争はむずかしい点を指摘した。③では、まともに競争しようと思わず、逆のすき間をぬった林業、大径材の生産方法が大切と分析。

さらに無垢材の価値が上がり需要が伸びる時期の到来を示唆した。ついで岩井先生がコーディネートを務め、パネルディスカッションに移った。「未来の森づくりのために、期待される地域の林業」をテーマに、四名のパネリストにより各々の分野における話が続いた。

林業経営者の杉山精一氏は、竹林を再生し都市との交流を行っていた。(株)市川屋代表取締役市川英美氏は、プレカットの製材業を営み、工務店と連携し地域材を利用した住宅を提供している。(有)巻上造林専務取締役巻上浩昭氏は、県の林業作業士

の資格を取得し森林整備のプロとして森林を守ること力を尽くし、森林塾の講師も努めている。神奈川県森林インストラクターの谷津直美氏は、県民参加の森づくりを目指し、人と森林を結ぶ役割を推進し、森の恵みを受けた木工クラフト活動等に励んでいる。

中で、森林と都市の関係についてディスカッションされたが、森林と都市の方々を現代風に結びつけることが、どれ程可能性があるのか、どれだけ林業経営者にプラスになるのかの問答は特に無かった。「森づくりの循環―植えて、育てて、切って、使って、また植える―とくり返されるべき往年の営みが途切れてしまつて森林には元気がない。さ迷える森林林業の様がやるせなくて怖い。

最後に岩井先生はオーストラリアの山村グリーンツーリズム調査結果を語られた。オーストラリアの風習として森林ボランティア活動は特になく、地産地消が当然である。しかし良質材は北欧から、構造材は地元材を利用している。山林へ入ることは自由という慣習は古来よりあり、人々は木の名前と特性を熟知しており、日曜大工が大好きで家屋の改造が上手等、トータルとして「森林と都会の人が近い」と感じると述べた。歴史、環境の差はあれ、期待される日本の森林と都市との関係も浮沈の鍵がこの辺にあるのではと思った。

— 普及指導員通信 —

学校林に響く山木屋小学校緑の少年団の子供達の声

■県北農林事務所

県北農林事務所では、森林環境交付金（基本枠）事業を活用しながら、森林環境学習が積極的に行われるよう、緑の少年団結団校等小学校の森林環境学習を積極的に支援しています。

今回、紹介するのは、川俣町の山木屋小学校緑の少年団による森林環境学習です。木々の緑も色を増し、風さわやかな6月11日（金）に、学校林の一つである第二親子の森にて、林業体験活動が行われ、当事務所から普及指導職員2名が活動をサポートしました。

当日は、少年団員20名と教師3名、父兄4名が参加し、はじめに、ケヤキの植栽地にて、鎌の安全な使い方やハチに対する対処の仕方等について指導を受けた後、団員達は、それぞれケヤキの木の周りを丁寧に刈り払いました。

その後、ケヤキの育ち具合を調べる体験が行われ、団員達は、コンベックスやノギスの使い方を聞きながら、3名一班となって、一生懸命ケヤキを測定し、記録していました。

今回、鎌やノギスなどを初めて使った団員達は、「暑かったけど、刈り払いしてあげたケヤキが喜んでいようで良かった。」とか、「なぜ刈り払いをしなければならぬのかが良くわかった。」「ノギスを初めて使えて嬉しかった。」など、素晴らしい感想が次々と発表されました。

団員達により手入れが引き継がれていくケヤキが、立派な森に育っていくよう、これからもサポートしていきます。

（林業普及指導員 奥寺 芳夫）



森林体験 刈り払い



森林体験 樹木測定

三島モデルの先に～奥会津の挑戦～

■会津農林事務所

会津地方は、木材価格の下落や地域経済の低迷といった需要側の問題と、小規模零細な所有形態による集約化施業の困難などといった供給側の問題があって、素材生産が停滞していました。一方で、豊富な森林資源を活かした地域活性化への要請は大きく、雇用の創出や地場産業の活性化につながるような施策が望まれてきました。

そこで、百年スギの振興を掲げてきた三島町に対して、「一定サイクルによる間伐の実施」「林建協働による雇用の創出」「間伐材の搬出・販売による収益の還元」の3つをポイントとした「三島モデル」を提案し、平成21年度から計画的な事業の実施に努めてきました。これは、会津若松地方森林組合を主な事業主体とした、いわゆる提案型の集約化施業の一環として行われているものです。ここで得られた成果や問題点を検証し、いずれはフィールドを拡大し

て実施することを念頭に置き、行ってきました。

今年度からは、柳津町、金山町、昭和村にも1地区ずつフィールドを設定し、森林整備加速化・林業再生事業による境界明確化・路網整備・間伐の実施を計画しています。事務所では部内にプロジェクトチームを設置し、各地区に林業課から2名を担当者として貼り付けております。地元説明会や現地調査など、事業主体となる森林組合や町村へ指導・助言を行い、夏には事業提案ができるように準備しているところです。今年度の計画量は、間伐で各地区5～10ha程度ですので決して大規模な集約化施業とは言えませんが、わずかでも収益を還元できれば、それがモデルとなって、地域に合った提案のカタチ＝システム作りができるのではないかと考えています。

（林業普及指導員 長澤一太郎）



地区座談会の様子



現地調査



素材の価格 〈工場着価格〉 (5月15日現在)

(単位: m³当り千円)

区分	形量		材質	樹種	中通り地方		会津地方		浜通り地方		県平均		
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	
一般用材	小	5~9	4.00	並	スギ	8 (8~8)	0	9 (9~9)	0	7 (5~9)	0	8 (5~9)	0
		10~13		並	スギ	10 (9~12)	0	9 (8~9)	0	8 (7~10)	0	9 (7~12)	0
	中	14~18	3.00	並	スギ	12 (11~14)	0	11 (11~12)	0	11 (11~12)	0	12 (11~14)	1
				並	ヒノキ	19 (17~22)	0	(0~0)	-	17 (16~18)	0	18 (16~22)	0
		6.00	並	スギ	19 (16~20)	1	18 (18~18)	0	16 (15~16)	0	17 (15~20)	0	
			並	ヒノキ	24 (24~24)	0	(0~0)	-	24 (22~26)	0	24 (22~26)	0	
	20~28	3.65	並	スギ	14 (12~18)	0	12 (11~12)	0	11 (11~12)	△1	13 (11~18)	0	
		4.00	並	アカマツ	11 (8~14)	1	10 (10~10)	0	11 (10~12)	0	11 (8~14)	1	
		1.80	並		8 (5~10)	0	(0~0)	-	8 (7~9)	0	8 (5~10)	0	
	外材	30以上	10.00	並	米ツガ	(0~0)	-	(0~0)	-	24 (23~24)	0	24 (23~24)	0
並				米マツ	25 (22~28)	0	26 (26~26)	0	25 (24~26)	0	25 (22~28)	0	
28以下		4.00	並	エゾマツ	(0~0)	-	(0~0)	-	23 (20~25)	0	23 (20~25)	0	
			並	ベニマツ	27 (27~27)	△1	22 (22~22)	0	21 (21~21)	0	23 (21~27)	0	
70~90		8~14	並	ラワン	(0~0)	-	(0~0)	-	(0~0)	-	(0~0)	-	
			並	アガチス	(0~0)	-	(0~0)	-	(0~0)	-	(0~0)	-	
パルプ用材	-	-	並	マツ	(0~0)	-	(0~0)	-	6 (6~6)	0	6 (6~6)	0	
			並	広葉樹	(0~0)	-	(0~0)	-	6 (6~6)	0	6 (6~6)	0	

四月の原木市場への入荷状況は、前月比で八割増(前年比二割増)の二八、一四〇立方メートルとなっている。販売量については、前月比では二割増(前年比二割増)の二八、二七四立方メートルとなっている。入荷量、販売量ともに取扱量は前月、前年比で増加している。五月の価格については、保合である。

区分	形量		材質	樹種	会津共販		いわき	
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	(0~0)	*	9 (8~9)	0
	13~14		並	カラマツ	(0~0)	*	8 (7~9)	0
	16以上		並	カラマツ	(0~0)	*	11 (10~11)	0

注) 1. 前月差の△印は値下りを、*印は前月実績がなかったことを示す。
2. ()内は各地域の価格幅、()外は各地域の平均的価格を示す。
3. 一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。



汗だく、息も上がらない。暑い。でも息の上がついていない。小学生達に元気をもらい(やつぱり若い)、いなあ、

が、和やかだったのはここまで。式典閉会後、急勾配の作業道をひたすら上り植樹会場へ。会場に到着したものの植樹もしていないのに既に汗だく、息も上がらない。暑い。でも息の上がついていない。小学生達に元気をもらい(やつぱり若い)、いなあ、



炎天下と豚汁と私

県南農林事務所森林林業部
林業課

菊池 徹

当管内の埴町真名畑地区の国有林において開催されました、東白川地方町村会と棚倉森林管理署共催の「植樹祭」に参加したときのことを報告させていただきます。

棚倉森林管理署主催の植樹祭は毎年恒例となっていました。今年度より東白川地方町村会との共催となり、五月二日は夏日になるほどの晴天に恵まれた中での開催となりました。式典では、地元埴小学校の児童代表二名により、森林管理署が行った森林教室に対するお礼の言葉があるなど終始和やかに進みました。が、和やかだったのはここまで。式典閉会後、急勾配の作業道をひたすら上り植樹会場へ。会場に到着したものの植樹もしていないのに既に汗だく、息も上がらない。暑い。でも息の上がついていない。小学生達に元気をもらい(やつぱり若い)、いなあ、

なんとか参加者全員で二五〇本のスギを植樹しました。

植樹終了、来た道を戻る。式典会場だった所は昼食会場へと様変わりしており、主催者側の好意で準備していただきおにぎりや豚汁に舌鼓! 「体を動かした後のメシはうまいな」と行きたいところ。しかし、当日は夏日、昼食会場は炎天下、日陰もない。さらに、追い打ちをかけるかの如く器にたっぷりと入った熱々の豚汁様の登場。少しは冷ましてみようと思いを吹きかけて努力してみる。「暖簾に腕押し」「焼け石に水」とはまさにこのことか。それでもなんとかならざる。「考えてみたらこんな条件で豚汁を食べたのは初めてだな...」なんて、体の中の悪いものが全て汗で出てしまったようなちよつとした爽快感と、強敵を攻略した達成感に浸っていると、「おかわりどうですか? (笑顔)」「い、いえ、結構です(苦笑)」「そう言うのが精一杯。その後、当分の間は舌がヒリヒリしていたの言うまでもありません。

これから来る夏。我慢大会ではないですが、皆さんもぜひ炎天下での熱々の豚汁に挑戦してみてください。いかがですか? いい汗かけますよ。



各地域で多彩な活動を 続ける緑の少年団

福島県緑の少年団活動実績発表大会

みどりの少年団コーナー
No.178



去る五月二六日、郡山市の福島県林業研究センターで、平成二二年度福島県緑の少年団活動実績発表大会が開催されました。

本年は各地域で小学校の統廃合が進んでいることもあり、例年より参加団が少なくなりましたが、一三団の代表者はいずれも、平日頃の活動を取りまとめ、五分間の制限時間の中で要領よくしかも、元気に、堂々と発表しました。

活動実績発表会は、本年度で三二回になりますが、その活動は各地域の特性を生かした多彩なものであり、内容も深化し、楽しい中にも優れた学習効果をもたらすものも多くありました。

楽しいキャンプと併せて、その海水浴場の清掃活動、地元の誇りでもある名木の桜を守る活動等、奉仕活動も身近な、地域と一体となったものも多く見られました。

また間伐材を使ったオブジェやストラップづくり、そして炭焼き体験とその炭を使っての川の浄化実験、また卒業記念のダリアの花で染色したスカーフづくりなど、今までの林業・農業体験よりも幅広い、多彩な活動を展開している様子がうかがえました。特に栗のイガを使っての炭焼き、「まっくろくろすけ」づくりな



元氣よく発表する少年団

どはそのときの皆の楽しそうな様子が目に浮かぶようでした。

特筆すべきことは、昨年の調査結果を本年度の活動計画に活かし、さらに発展させるなど、活動の継続性、深化が見られたこと、フラワーロードづくり、お年寄りや地元公共施設への鉢花やプランターのプレゼント、地域の人々に活動内容を伝える広報誌の発行など、他団の活動も参考にしながら活動に取り組む少年団が増加したことでした。

これらのことから、今後は、さらに優れた発表が多くなるものと期待しております。

審査の結果、特選の知事賞には古殿町の大久田小学校緑の少年団が選

ばれました。また、準特選には三団が、奨励賞には九団が選ばれました。

これらの表彰は、七月二七日から開催される第二七回福島県緑の少年団大会の開会式で行われ、併せて、特選、準特選の四つの緑の少年団は代表として活動実績発表を行うことになっております。

審査の結果は、次のとおりです。

○特選

（県知事賞）

大久田小学校緑の少年団

○準特選

（県教育庁賞）

高城小学校緑の少年団

（関東森林管理局賞）

山木屋小学校緑の少年団

（県緑化推進委員会会長賞）

石田みどりの少年団

○奨励賞

（県緑化推進委員会理事長賞）

小坂小学校緑の少年団

緑小学校みどりの少年団（田村市）

飯豊小学校緑の少年団

中一緑の少年団

謹教小学校緑の少年団

大戸小学校緑の少年団

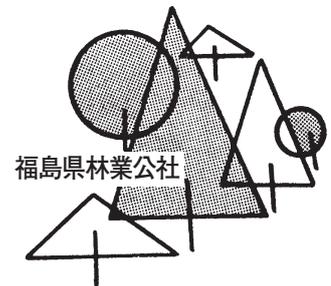
川南小学校ホタルの里緑の少年団

双葉北小学校緑の少年団

川内小学校緑の少年団

公社だより

第43回通常総会 開催される



理事長あいさつ



審議の様子

去る五月二七日(木)、福島市「ホテル福島グリーンパレス」において、福島県林業公社の第四三回通常総会が開催されました。

まず、松本理事長から、「公社の経営は大変厳しい状況にあるが、社

員の皆様から更なるご支援、ご協力をいただきながら、経営改革を着実に推進し、公社造林地を健全な姿で次世代に引き継いでいきたい。」と、あいさつがありました。

続いて、来賓を代表して、日本政

策金融公庫仙台支店長の西山博文様から「森林は二酸化炭素吸収源としても注目されている中、森林整備の中核を担う公社のご活躍を期待する。」とご祝辞をいただきました。

その後、鮫

川村の大樂勝弘村長を議長に選出して議事に入り、平成二一年度の事業報告・決算及び平成二二年度の事業計画・収支予算、任期満了に伴う役員を選任等七議案について原案どおり決定・承認されました。

平成二一年度の決算では、定額助成事業の活用や計画を上回る木材販売収入が確保されたこととともに人件費等管理費の経費削減に努めたこと等により、次期繰越額は一八、〇四〇千円となりました。

林業公社の経営改革の柱の一つである分収割合の契約変更については、「協議期間を平成二三年度まで二年間延長する。」という【改訂】第二次改善計画の一部改正が承認され、公社が土地所有者と直接交渉することを基本とするが、県との密接な連携及び社員・市町村の積極的な協力を受けながら推進することとなりました。

平成二二年年度の公社事業では、四億五、〇〇〇万円の分収造林事業を実施することとし、そのうち保育事業については、間伐を中心に一、五六〇鈔の森林を整備する他、新規事業として森林整備活動支援委託事業により一、六七三鈔の被害等調査を実施することとしております。

また、木材販売増収のため、木材

生産流通に経験豊富な職員を採用し、木材販売推進体制を整備するとともに、木材生産コストの低減を図るため、新規事業の森林整備加速化・林業再生基金事業等により八、五〇〇鈔の作業路整備をすることとしております。

さらに、昨年度は九五本の応募があった間伐材を利用したクリスマスツリープレゼントを引き続き実施するとともに、林業関係団体等と連携した豊かな森林づくりへの普及・啓発活動についても、積極的に取り組むこととしております。

最後に「社団法人福島県林業公社【改訂】第二次改善計画後期分期計画(平成二二～二五年度)について」の報告を行い、計画期間中に五、四〇〇鈔の保育等事業の実施や二六、五〇〇千円の木材販売収入の確保、平成二二年年度に市町村及び財産区有林の契約変更等重点的に取り組む等について説明いたしました。

当公社としましては、「県土の保全と農山村の振興及び住民の福祉の向上に寄与する」という公社の役割を改めて認識し、造林地の適正な管理に努めるとともに、経営改革に全力で取り組んで参りますので、今後ともご理解とご協力をよろしくお願いたします。



～故郷の山で林業経営を 始めませんか～

* 相談窓口のご案内 *

林業経営新規参入者支援窓口
 社団法人 福島県林業協会内
 〒960-8043 福島市中町5-18
 TEL 024-521-3245
 FAX 024-521-3246

定年退職などを機に故郷へ戻
 る方、新たに所有山林の経営・管
 理を始めたい方、そんな方々の林
 業へのスタートを支援する相談
 窓口が、(社)福島県林業協会に設
 置されています。この機会に、ぜ
 ひ、ご活用ください。
 やり方次第で、眠っていたあな
 たの山が宝の山になるかもしれま
 せん。

林業経営を始めたくても、所有
 する山林の様子がはつきりしない、
 経営手法や林業技術、林産物の販売
 方法が分からない、相談につてく
 れる公的機関を知りたいなど悩み
 を抱える方も少なくありません。
 必要な情報を得ることが、林業
 へ踏み出す第一歩です。

相談窓口では、林業経営手法・
 森林施業技術・林産物の販売など
 にかかわる情報、頼れる地域の人
 材の情報、林業関連機関、学習や
 研修機会など、地域の実情に合わ
 せた必要な情報を提供します。

また、アドバイザーを派遣する
 ことによって、森林経営の実践に
 役立ててもらおうことにしています。

また、秋には、現地研修会・相
 談会の開催を予定しています。

第7回 ふくしま森林・林業 写真コンクール

平成22年 (当日消印有効)
応募締切 9月21日(火)

作品募集

(社)福島県林業協会では、下記のとおり《ふくしま森林・林業写真コンクール》を
 開催しています。皆様のご応募をお待ちしています。

テーマ | 下刈、間伐等の森林整備作業・木材の利用・特用林産物(炭焼き、きのこ栽培、漆等)・里山風景・森林
 レクリエーションなど森林・林業に関わりのあるもの。

応募資格 | アマチュアに限ります。

作品サイズ | カラープリント 四ツ切・ワイド四ツ切(デジタルカメラ撮影も可)

審査員 | 主催者、後援者の代表、専門家等によって審査します。

発表 | 入賞者には平成22年10月頃直接通知します。表彰は「福島県林業祭」の林業コンクール等表彰式で行います。

●最優秀賞(県知事賞).....1点	賞状 賞金(3万円)	●入選.....5点	賞状 賞品
●優秀賞(林業協会長賞).....3点	賞状 賞金(2万円)	●佳作.....5点	賞状 賞品
●特別賞(林業会館理事長賞).....1点	賞状 賞金(2万円)		

応募上の注意 | 自作の未発表の作品に限ります。
 森林整備作業等では労働安全に配慮されているものとします。
 応募点数に制限はありませんが、入賞は1人1賞とします。
 応募作品には、題名、撮影場所、撮影年月日、住所、氏名、電話番号、年齢、職業、を記入した応募票(自
 作可)を添付して下さい。
 入選者はネガを提出していただけます。デジタルカメラの場合はデータをCDにおとしたもの。
 入賞作品の著作権は主催者に帰属し、「林業福島」等の広報誌に使用させていただきます。
 原則として応募作品は返却いたしません。

**送り先
問い合わせ先** | 〒960-8043 福島市中町5番18号 社団法人 福島県林業協会 管理課
 電話 024-521-3245 FAX 024-521-3246

表紙の横顔



傘寿まだまだ現役

第6回ふくしま森林・林業写真コンクールで入選となった、羽根田民子さん（南相馬市）の作品。

モデルになった羽根田ヨシさんは、山好きで現在も元気に山仕事にがんばっている。平成21年度には福島県林業コンクール造林技術部門で、見事に県知事賞に輝いた。



黄門様の実像に触れて

七月末に梅雨が明けると真夏日が続く。梅雨の頃に咲いたアジサイやアヤメの花からヤマユリの花に変わる。ヤマユリは一本の茎に大きな花をたくさんつけ、独特の香りを放つ。

ところで、六月に水戸市で開催された普及員時代のOB会に出席した。会員の外に来賓として国や中央の関係団体、地元茨城県の幹部が出席され、二日間の会議は盛会であった。

会員は各県の元普及担当者で、北は北海道、南は九州から多数出席された。古希の年代だが、弁舌は現役時代に増して滑らかだった。会員はS・G・E・C（緑の循環認証）の認証・認定事業の専門審査員として活躍中で、今年から新たに始まる「森づくり活動による環境貢献度認証」制度の指導員として、活発な活動に大きな期待が寄せられている。

話は変わるが、水戸史学会但野正弘理事長の講演「黄門様の知恵袋―人生の教訓」によると、黄門様は初代藩主頼房の三男で、幼名を長丸・千代松と呼ばれた。テレビでお馴染みの黄門様が助さん格さんを伴い、諸国で悪代官を懲らしめた話は事実では無いようだ。

ちなみに、但野氏の研究によると黄門様が旅をしたのは、日光東照宮、神奈川県藤沢市、鎌倉など関東地方が中心で、本県の勿来も訪れている。常陸太田の西山荘に隠居してからは、佐々（さつさ）介二郎等を伴って水戸領内を精力的に視察した記録がある。

青年期まで自由奔放だった黄門様は、一八歳の時に史記「伯夷伝」を読んで反省・立志し三四歳の時に二代藩主に就いた。黄門様は勉強家で多くの言葉やエピソードを残した。

側近が書いた「桃源遺事」にうどん打ちが得意で、来客にうどんをご馳走したとある。

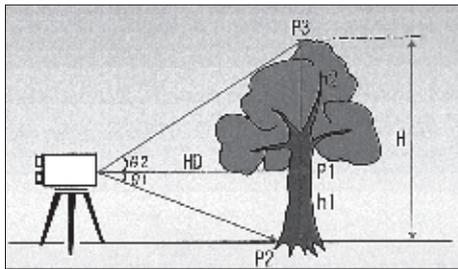
日常の心構えや火事等での人命第一、酒の功罪、組織の人事管理、子供の教育についての言葉があり、紙の浪費を戒めて奥女中に冬の紙造りを見せたり、隠居後は人から来た手紙の裏を利用し、挟箱の紙で再生紙も作った。領民を第一に考えた名君黄門様は兄より先に藩主になった事で兄の子に跡目を譲った心意気、藩主在任の三〇年間大日本史編纂に取組んだ。諡名（おくりな）『義公德川光圀公』の没後三二〇年に当たり「冥福を祈ります。佐藤微風

編集

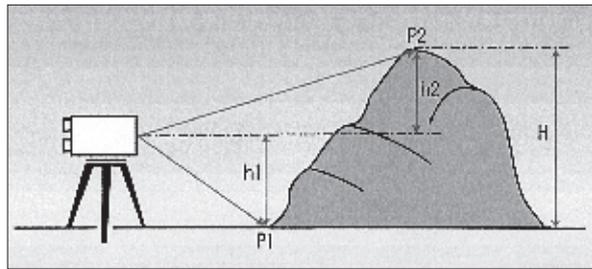
福島県内四森林管理署
福島県内四森林協同会
福島県森林組合連合会
福島県木材協同組合連合会
福島県緑化推進委員会
福島県農林種苗農業協同組合
福島県林業協会
森林総合研究所福島水源林整備事務所
福島県林業協会
（福島市中町五番一八号県林業会館内）
発行人 渡辺卓
発行 陽光社印刷株式会社
（定価 六三円）

高さ測定

1. 樹木の様に比較的まっすぐな場合

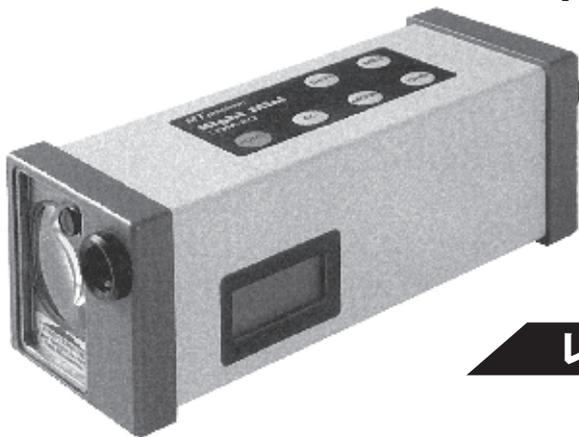


2. 堆積物等の山なり形状の場合



【LDM-20 仕様】

測距範囲	反射板 無30m 有300m
測距精度	± 5mm
傾斜センサー分析能	0.1
測定法	高さ・水平距離・斜距離
寸法	W64・H64・D180
重量	650g
付属品	ソフトケース・反射板・取説 RS232Cケーブル・EXCEL取込ソフト



LDM-20

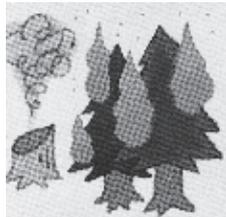
レーザーハイトセンサー「ハイト mini」

株式会社 福島測機

福島市渡利山ノ下前37-2 TEL024-523-1706 FAX024-523-1704

備えのパートナー 森林国営保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



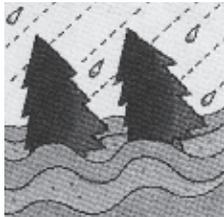
1 火災

山火事で受けた損害



2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



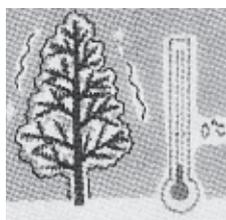
4 雪害

大量積雪による幹折れ、根返りなどの損害



5 干害

乾燥による枯死などの損害



6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《ご相談・お申し込みは》

◆森林組合

◆森林組合連合会

福島県農林水産部森林整備課

☎ 024-521-7430

イワフジのプロセッサ

GP-35V プロセッサ

IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.

シンプルと耐久性を迫及したプロセッサ



Simple Processor
MODEL : GP-35V



- 高耐久性を迫及したフレームとトンク
- 大容量ソーモータの採用による優れた切断力
- カッタ押し付けはシンプルなスプリング式
- 手元のノブスイッチで全ての操作が可能
- 強力な油圧モータおよび保持力によるパワフルな送材力
- 大きなトンクによる効率的なグラブ作業
- 高速コンピュータ GP-7 による精度の高い安定した測尺
- 皮剥けを防止するガイドローラ付トンク

ランニングコストに優れたシンプルプロセッサ

林業機械の総合メーカー

- ・ハーベスタシリーズ
- ・グラブブルシリーズ
- ・スイングヤーダシリーズ
- ・木寄せウインチシリーズ
- ・フォワーダシリーズ
- ・プロセッサシリーズ
- ・ラジキャリーシリーズ



イワフジ工業株式会社

北関東支店 〒969-1149 福島県本宮市本宮万世11-7
TEL 0243-34-5440 FAX 0243-34-5442

イワフジが開催する「高性能林業機械のメンテナンス研修」受講生募集中!
詳しくは当社ホームページをご覧ください www.iwafuji.co.jp



豊かな緑を次代へ

自然との調和

私達は、地球的視野に立ち、つねに進取の精神をもって、時代に挑戦します。

皆様のご要望にお応えする、環境との調和を図る製品やタイムリーな情報を提供し、全国から厚い信頼をいただいております。

野生動物から大切な植栽木を守る

ツリーセーブ
ヤシマレント

盗みされ防止

ハチノックL (網隠し)
ハチノックS (携帯用)

**大切な日本の松を守る
ヤシマの林業薬剤**

ヤシマスマイバイン乳剤
ヤシマスマイバインMC
グリーンガードエイト
パークサイドF
ヤシマNCS
モリエートSC
マツグリーン液剤2

くん蒸用生分解性シート

ちゆらシート (茶・白)
NCSシート (透明)
与作シート (茶・白)
(折りたたみ式
専用キャリアバック使用)



ヤシマ産業株式会社

本社 〒104-0045 東京都中央区築地1丁目9-6 アロア築地ビル2F
東北営業所 〒981-3133 仙台市泉区泉中央3-10-3-202

TEL.03-5565-3161(代) FAX.03-5565-3164
TEL.022-771-6681 FAX.022-771-6682

効率良く快適に! 手持ち作業から大型作業まで充実のラインナップ。

機器はゼノアから

排気量 **18.3cm³**
世界最小・最軽量、2.2kgの手のひらサイズ



G2000T 

20cm(8インチ)・SP ¥66,675(税込)
20cm(8インチ)・CV ¥72,765(税込)

排気量 **40.1cm³**
さまざまな用途に対応、本格プロ仕様シリーズ



G4211EZ 

40cm(16インチ)・SP ¥135,660(税込)
45cm(18インチ)・SP ¥137,865(税込)
40cm(16インチ)・H ¥135,660(税込)
45cm(18インチ)・H ¥137,865(税込)

使いやすさを
追求したハンドルと
思いのアクセルワークが
可能なトリガーレバー。



BC2711DW1-EZ

- ・防振ハンドルブラケット
- ・トリガーレバータイプ

チップソー ¥79,380(税込)
笹刈刃 ¥78,330(税込)

ハスクバーナー・ゼノア(株)福島県代理店

(有)うねめ林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108の1